

社長のための勉強

平成 29 年 7 月 1 日
〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4
株式会社堀口オフィス
TEL 06-6910-6412 :FAX 06-6910-6414

AI デバイド（人口知能格差）の時代をいかに勝ち抜くか？

AI の実力は今年 3 月、日本一の囲碁名人が碁ソフトに敗れたことはテレビ・新聞でも照会されました。身近なところでは、自動車の自動運転です（実用化まであと一歩です）。

AI デバンドで一番心配されているのが雇用問題です。野村総研研究所が 2015 年に日本の 600 余りの職種を分析し、日本の労働人口の 49%が AI ・ロボットなどに代替される可能性があると発表しました。定型化された職種、あるいはデジタルで置き換えられる職種、などは AI の得意分野です。そこで働く労働者は異動を迫られるでしょう。

6 月 11 日、朝のテレビ番組で 100 円ショップ大手の株式会社大創産業が照会されていました。大創産業の強さはいろいろありますが、一番驚いたのは大型の配送センターが、無人自動化されていることです。まさに AI デバンドの先取りかと感じました。

経営者は、AI 時代を自社の発展の好機と前向きにとらえるべきです。

とりわけ人手不足に悩む中小企業にとっては、相当程度人手を代替してくれる AI は救世主になってくれる可能性は大です。

課題は沢山ありますが、先ず AI を使いこなす能力を身につけることです。

経営者が人材教育に投資し、AI を理解し、自社にどのように取り入れるかの判断能力が必要不可欠です。



e-mail での配信を希望される方はご連絡ください。